

1 東北地方の面積・人口・地形

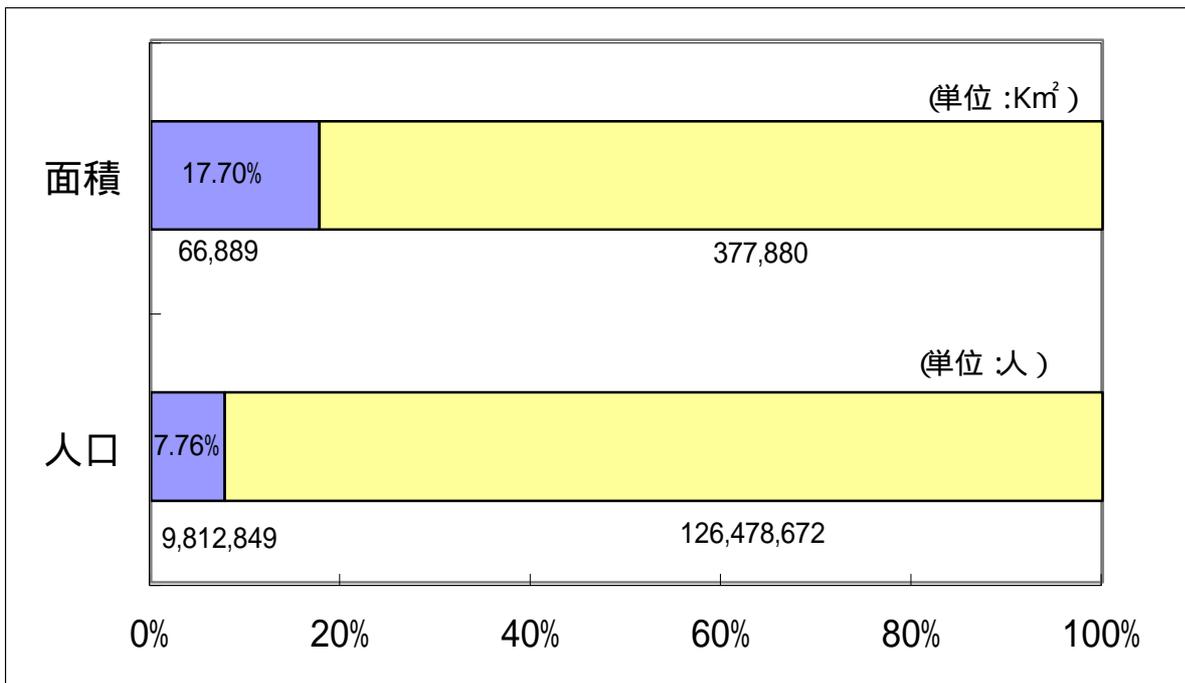
【概況】

- ・ 面積 66,889k m²は、全国の約 18%と広大。
- ・ 人口 9,813 千人は、全国の約 8%。人口密度 147 人/k m²は、全国平均の 5 割弱。
- ・ 山がちな地形。奥羽山脈などの山地に隔てられて、平野・盆地が点在。
- ・ 都市は、山地に隔てられた平野・盆地に分散して所在。
- ・ 本格的な人口減少、少子高齢化時代の到来。人口減少、少子高齢化は、全国を上回るペースで進展。
- ・ マイカーが普及（一人当たり 0.43 台。2、3 台持つ世帯も）

【基礎データ】

- 1 - 1 面積及び人口（全国比）
- 1 - 2 東北地方の地形・気候
- 1 - 3 県別面積（総面積、可住地面積、人口集中地区面積）
- 1 - 4 - 1 県別人口
- 1 - 4 - 2 人口 10 万人以上の都市
- 1 - 4 - 3 人口推移
- 1 - 4 - 4 年齢別人口割合及び推移
- 1 - 4 - 5 高齢化率の将来推計
- 1 - 4 - 6 産業別就業者割合及び推移
- 1 - 5 一人当りの県民所得
- 1 - 6 自家用車数の推移

1 - 1 面積及び人口 (全国比)



資料 : 全国都道府県市区町村別面積調、住民基本台帳人口要覧 (平成 14年 3月 31日現在)

1 - 2 東北の地形・気候

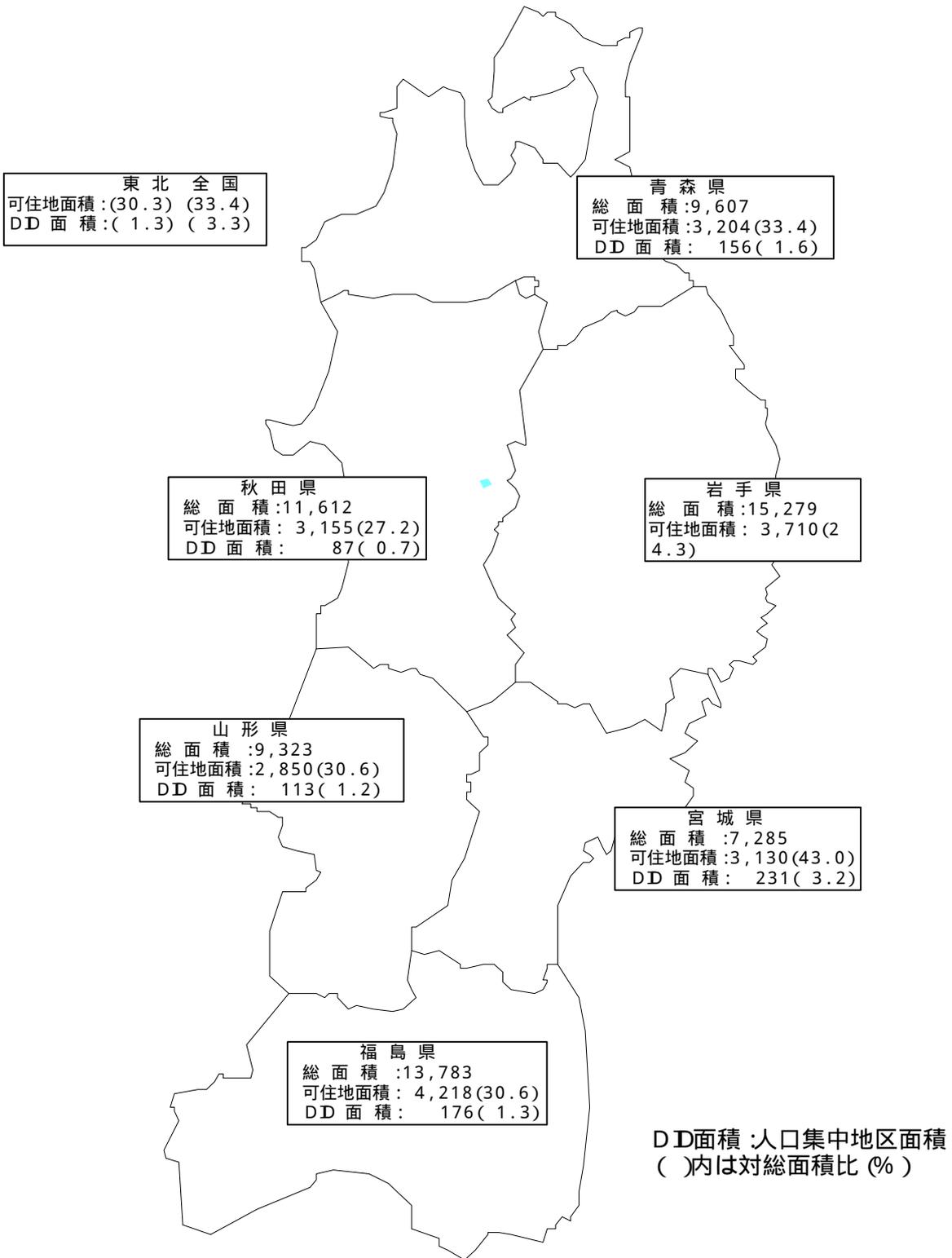
本州の最北端に位置する東北地方は6県から構成され、南北に縦に長く、中央を走る高く険しい奥羽山脈によって、青森県東部、岩手県、宮城県、福島県が面する太平洋側と青森県西部、秋田県、山形県が面する日本海側に分けられる。また、奥羽山脈に平行して東に北上高地・阿武隈高地、西に出羽山地が連なり、山地・山脈が多い地形となっている。それらの山地・山脈の間には、北上盆地、横手盆地、山形盆地、会津盆地などがあり、北上川流域には仙台平野、最上川流域には庄内平野、雄物川流域には秋田平野、岩木川流域には津軽平野が開けている。

一般的に東北地方の夏は比較的涼しいが冬は長く厳しい。しかし、高く険しい山脈が東北地方を東西に分けているため、太平洋側と日本海側では気候が大きく異なっている。夏、太平洋側では「やませ」の影響で気温があまり上がらず、比較的涼しくなる。一方、日本海側では盆地を中心に高温となることが多い。そして冬になると、太平洋側では晴天の日が続き降雪量も少ないが、日本海側では低温でくもりの日が多く大雪となる。

しかし、同じ日本海側でも盆地と平野を比べると、盆地では大雪となるが平野では降雪が少ない、などの違いが現れる。同じ日本海側と太平洋側の地域でも、盆地と平野では気候が異なってくるため、東北地方は様々な気候を持つ地方といえる。

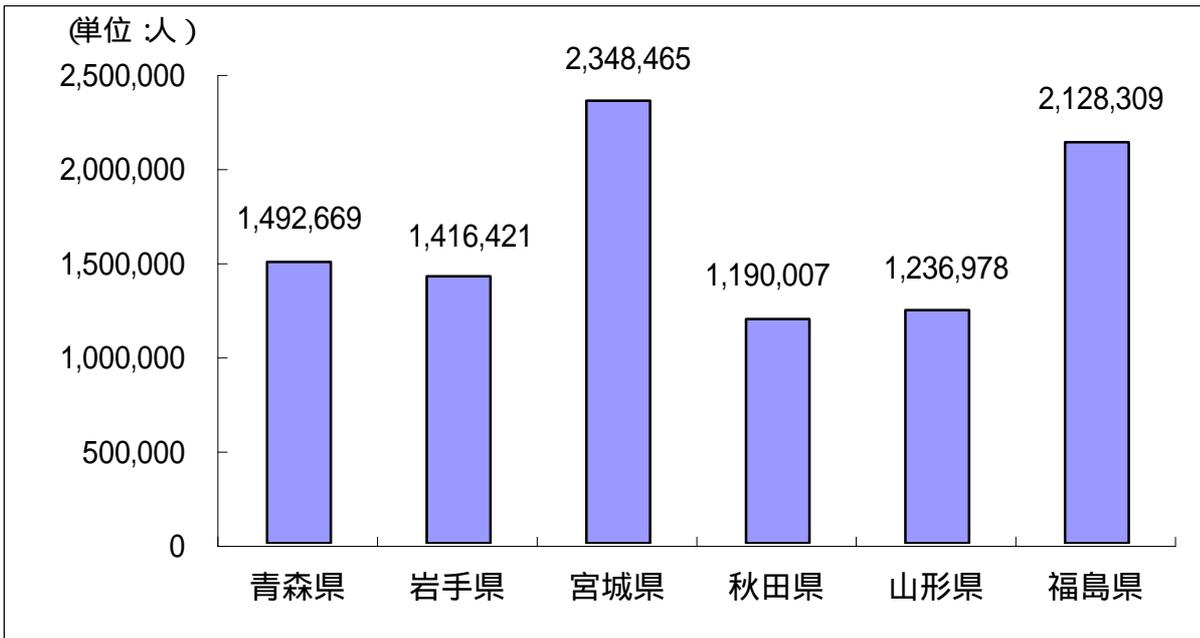


1-3 県別面積 (総面積、可住地面積、人口集中地区面積)



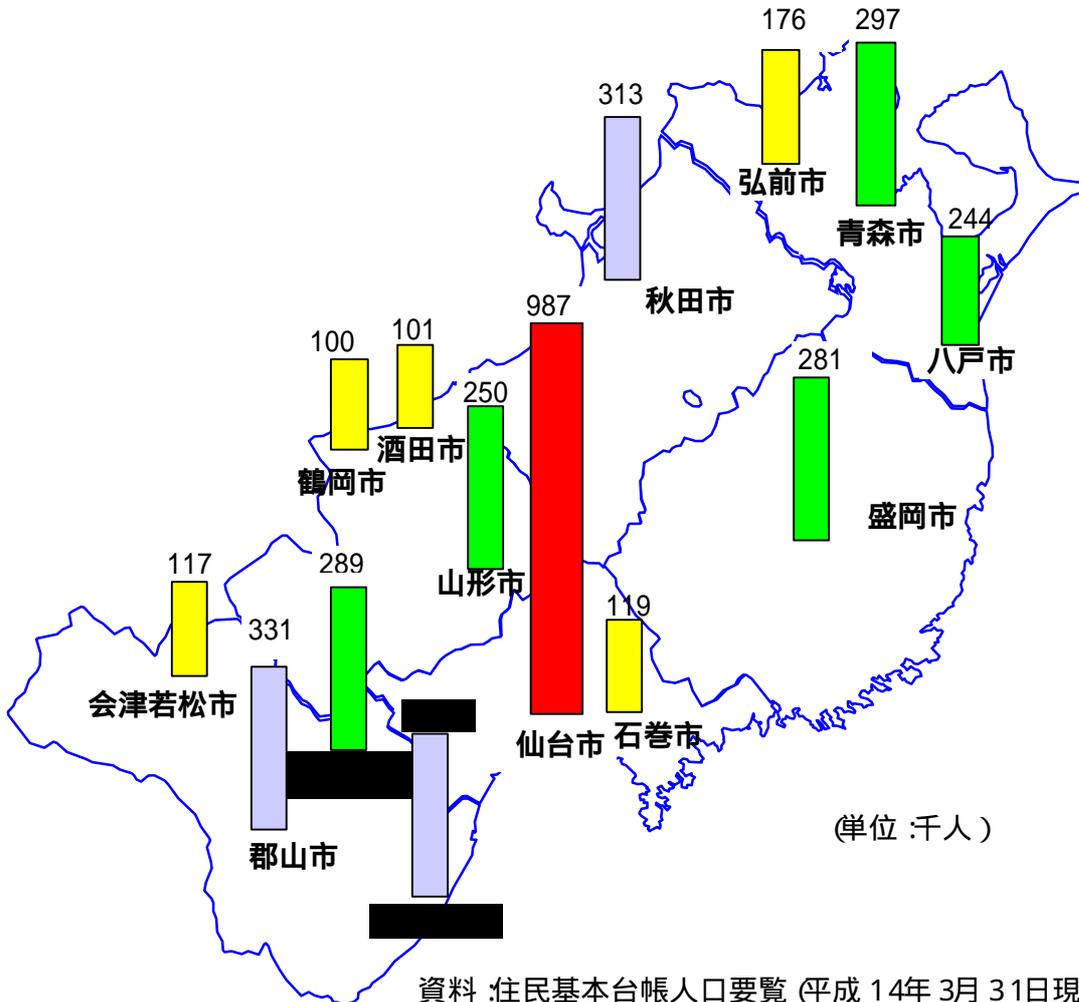
資料 : 全国都道府県市区町村面積調

1-4-1 県別人口



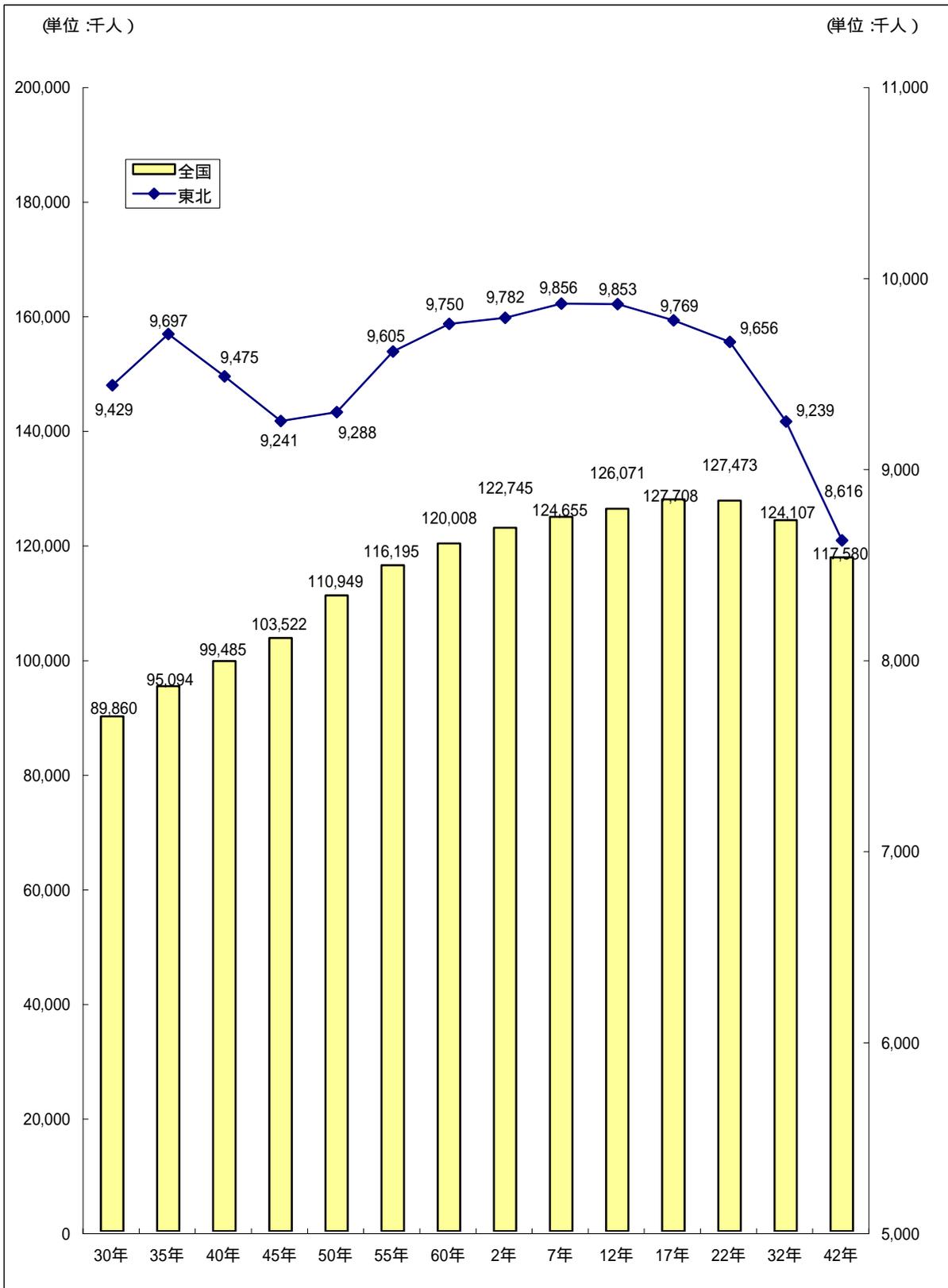
資料 :住民基本台帳人口要覧 (平成 14年 3月 31日現在)

1-4-2 人口10万人以上の都市



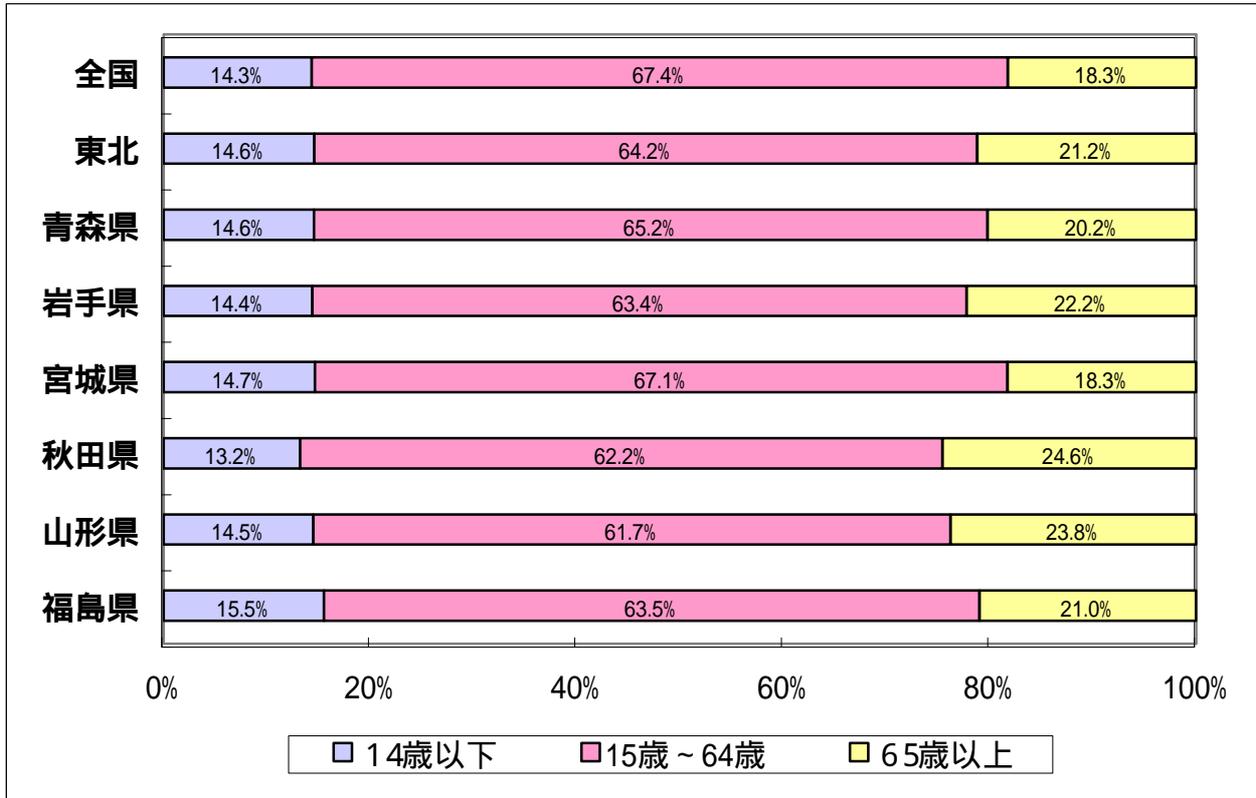
資料 :住民基本台帳人口要覧 (平成 14年 3月 31日現在)

1-4-3 人口推移



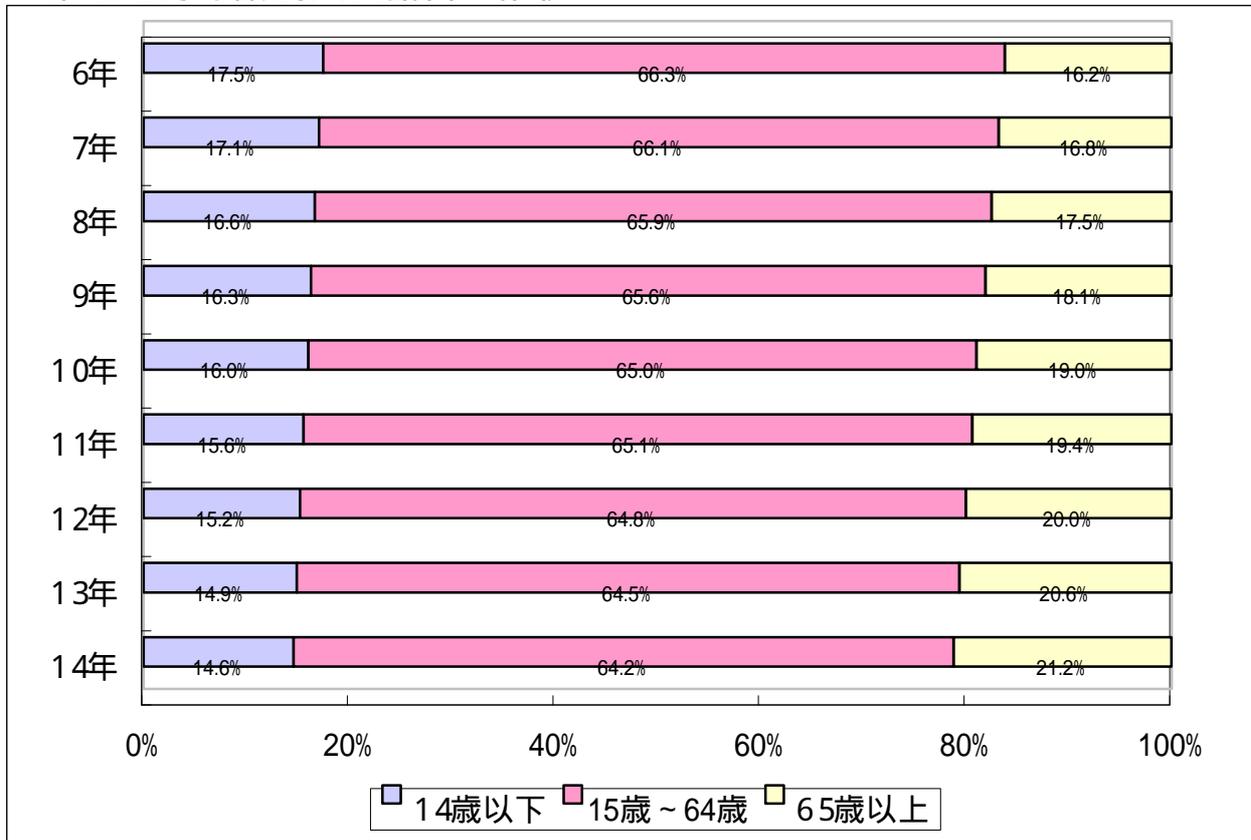
資料:住民基本台帳人口要覧
将来推計人口(厚生省)

1-4-4 年齢別人口及び推移 県別年齢別人口割合 (平成14年)



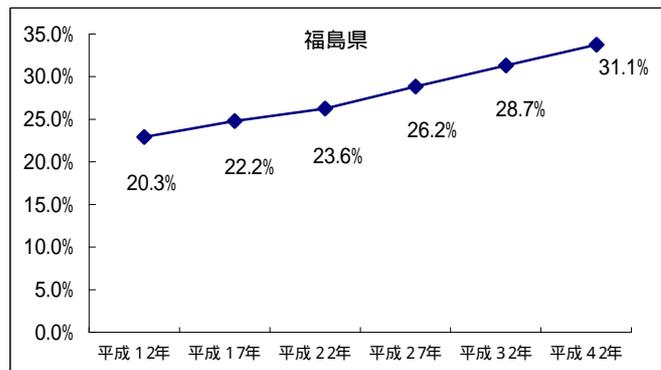
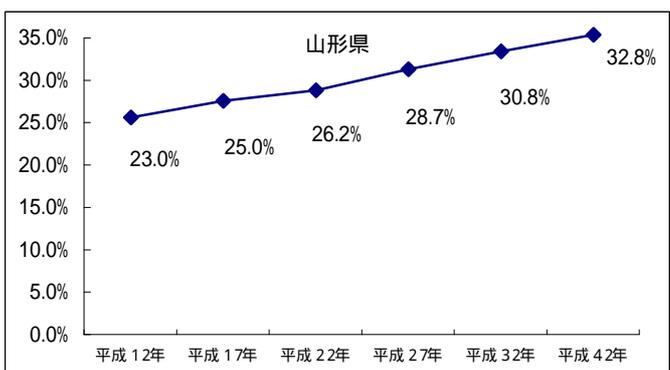
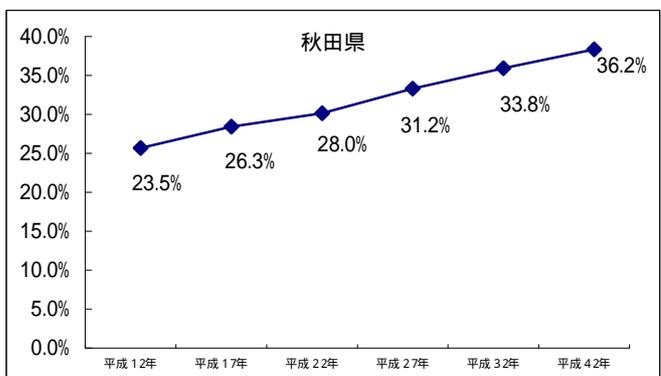
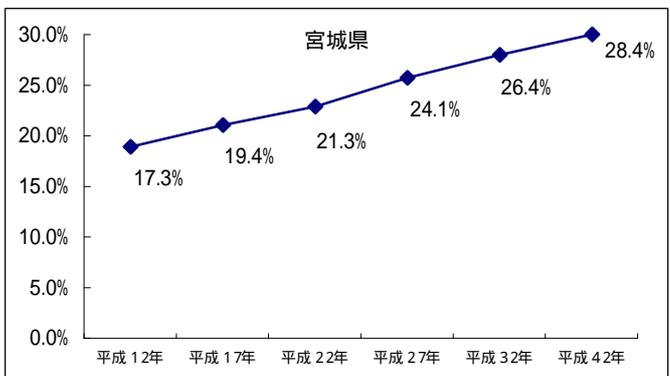
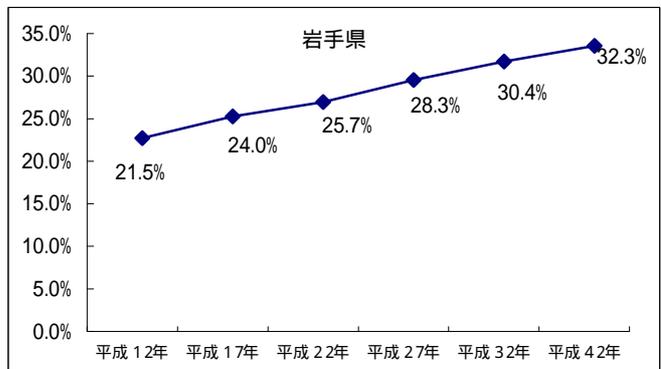
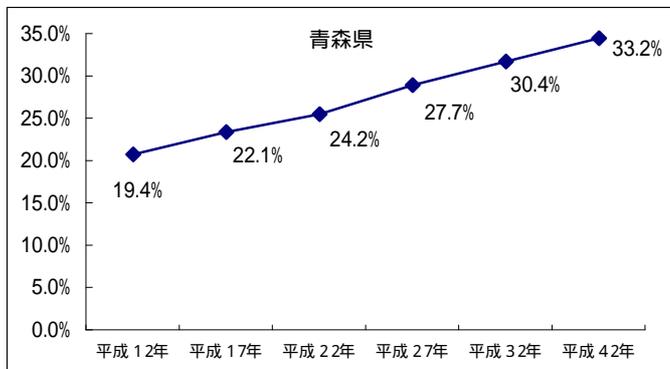
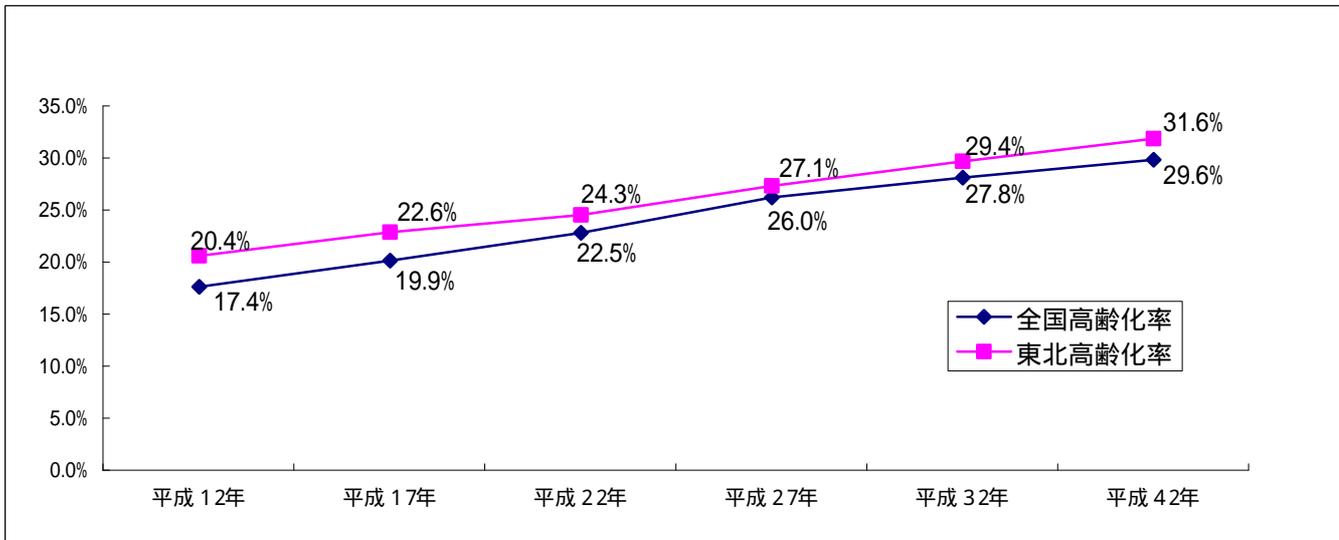
資料 : 住民基本台帳人口要覧 (平成14年3月31日現在)

東北地方年齢別人口割合の推移



資料 : 住民基本台帳人口要覧

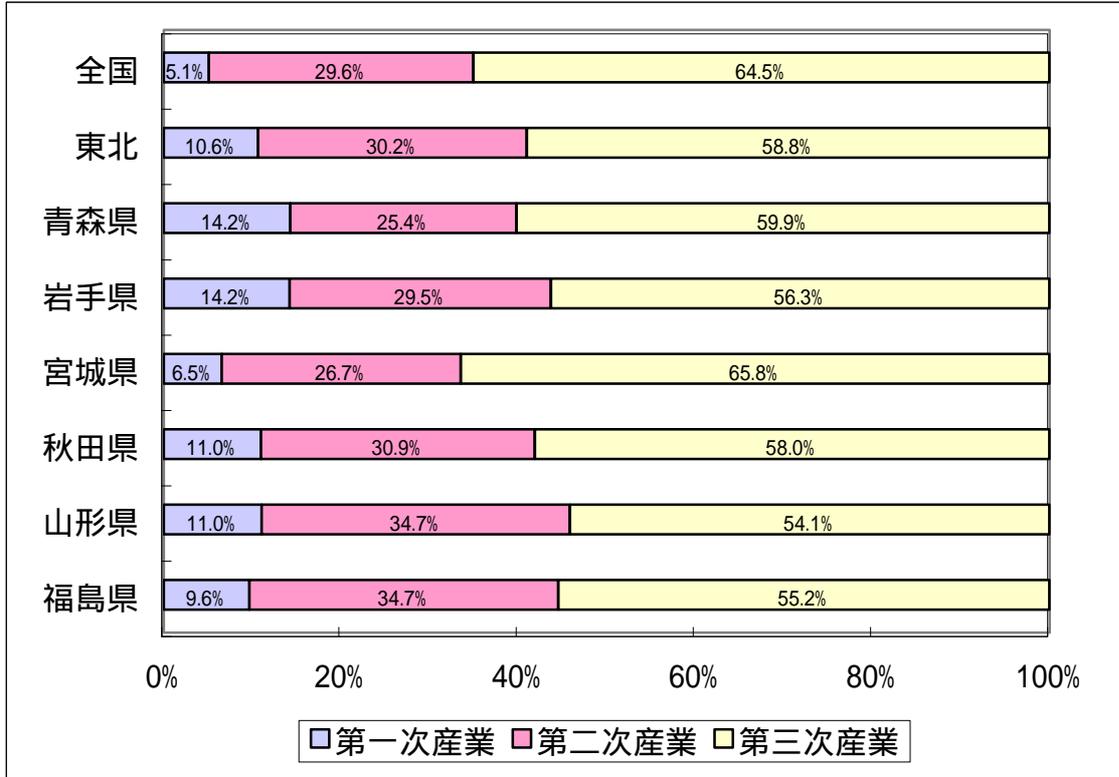
1-4-5 高齢化率の将来推計



資料 国立社会保障・人口問題研究所 (平成 14年 3月推計)

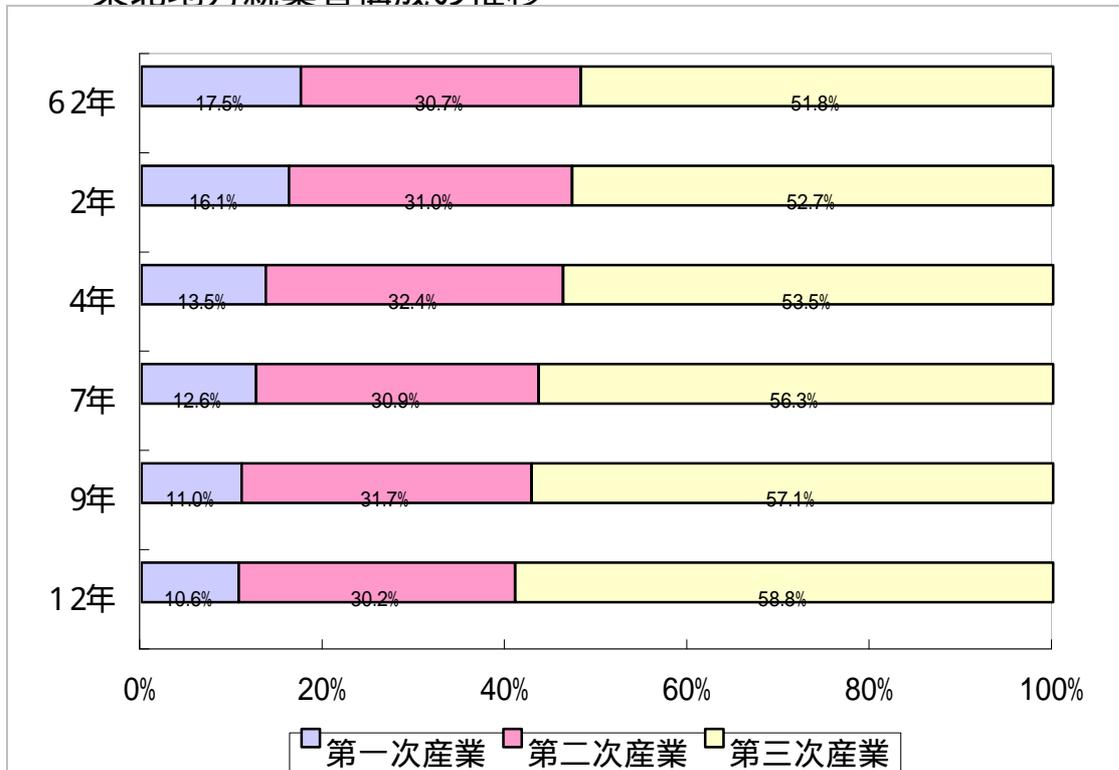
1 - 4 - 6 産業別就業者割合及び推移

県別就業者構成 (平成 12年)



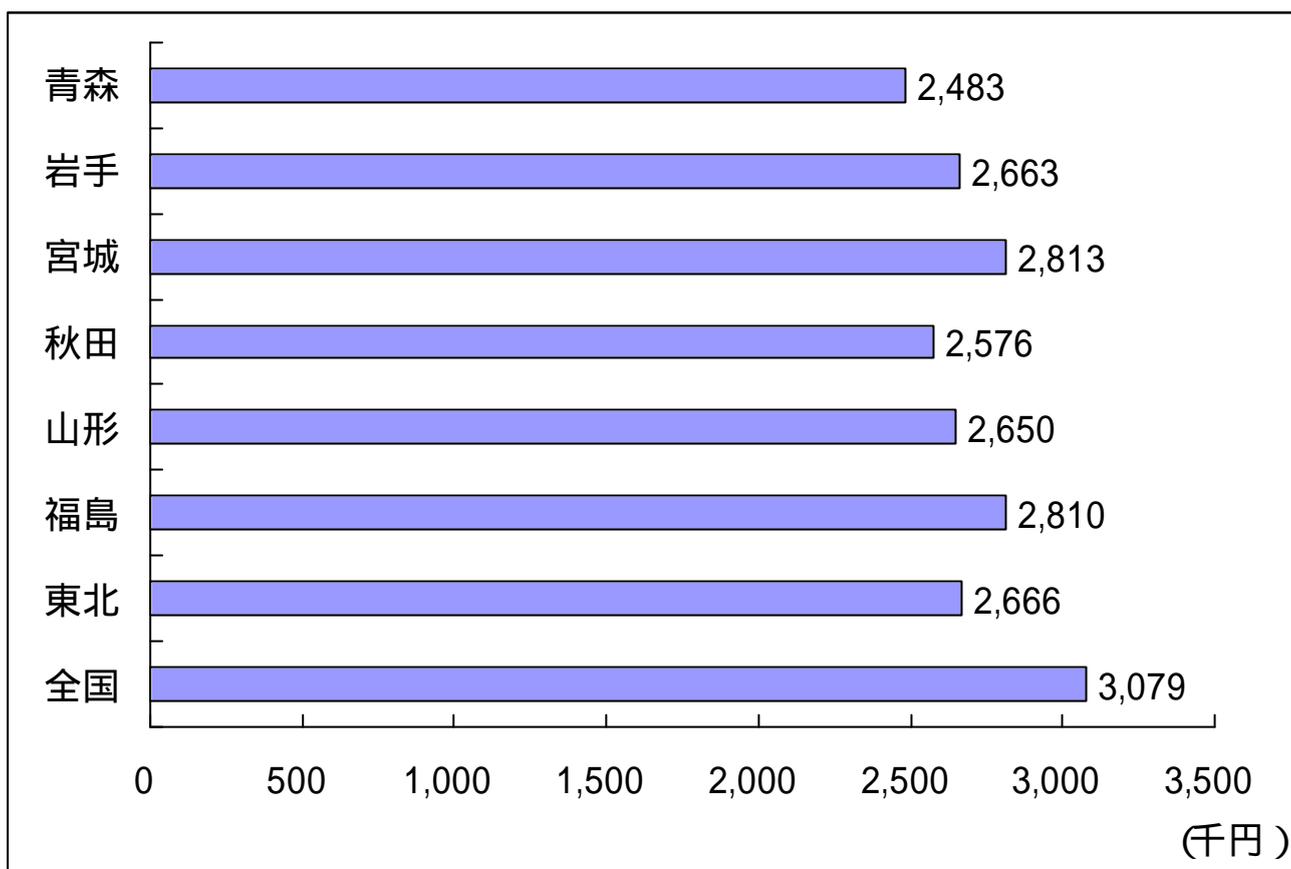
資料 国勢調査 (平成 12年)

東北地方就業者構成の推移



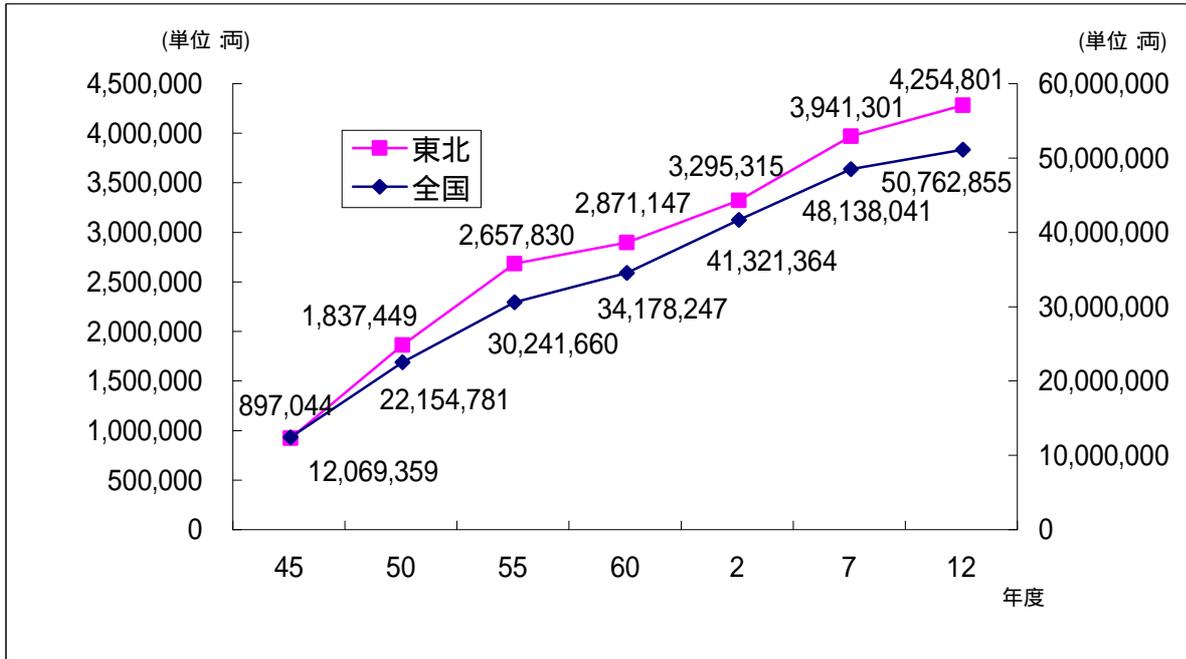
資料 国勢調査 (平成 12年)

1 - 5 1人当たりの県民所得

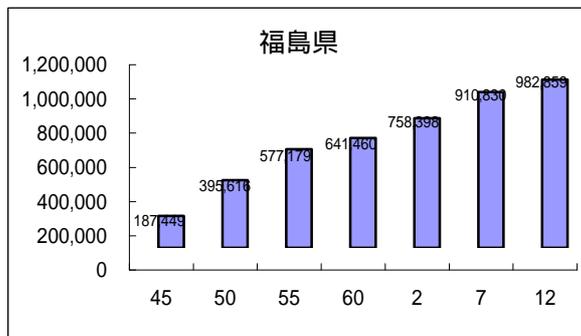
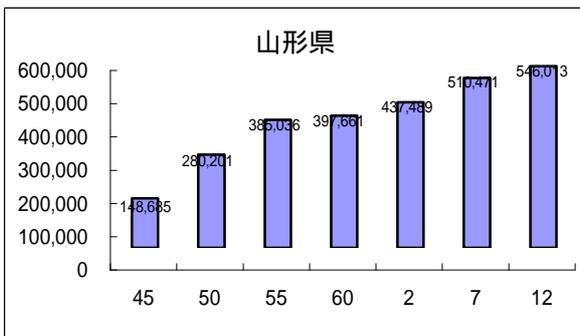
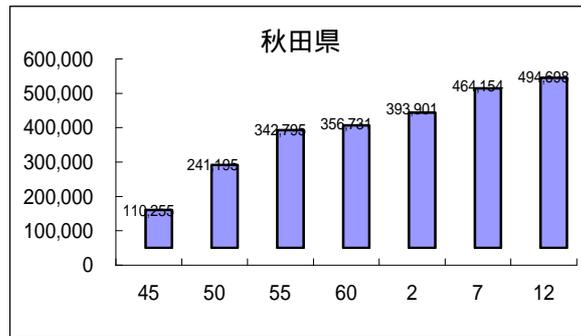
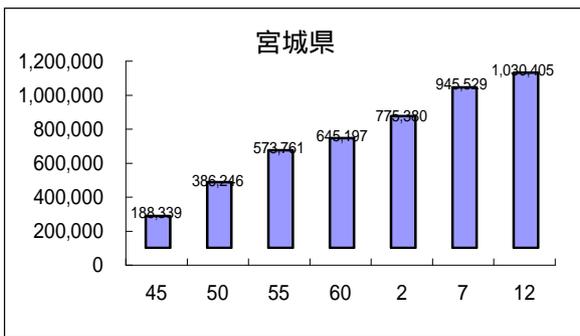
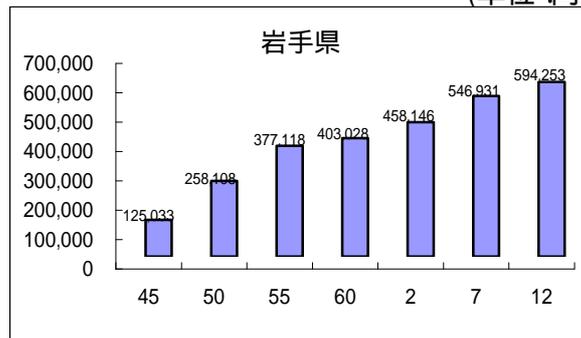
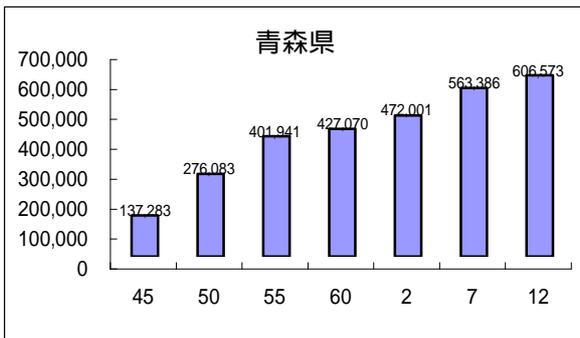


資料 : 県民経済計算年報 (平成 14年版)

1-6 自家用車数の推移



(単位:両)



資料:自動車保有車両数